

3/11反原発福島行動へ!

2018年1月7日
No.499

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

市東さんの農地死守! 改憲・戦争阻止! 4/1三里塚全国集会に総決起しよう!

全学連三里塚現地行動隊の年頭アピール!

全国学生は市東孝雄さんの農地を守り、成田の空港機能強化策=24時間稼働の軍事空港化をうち破り、改憲・戦争絶対阻止の18年三里塚決戦に決起しよう!

2017年、三里塚は重要な勝利を積み重ねてきました。一つは、請求異議裁判をかちとり、最高裁決定から1年以上にわたって市東さんの農地に一指も触れさせない力関係をつくり出したことです。もう一つは、空港機能強化策に対して新たな住民団体が立ち上がり、成田空港会社(NAA)を追い詰めていることです。

この勝利は、昨年1月に立ち上げられた決戦本部の1年間の奮闘で切り開かれてきました。毎日毎日会議を重ね、天神峰カフェや映画会などの創意ある方針を打ち出し、発信してきたこと、56回を数える空港周辺地域一斉行動に加え、周辺住民との日常的な討論の再先頭に立ってきたことで、かつて三里塚に関わった人や初めて知る人とのつながりは確実に広がっています。

芝山町と横芝光町で立ち上がった住民団体は、次々と空港機能強化策反対の看板を立て、白紙撤回を求める申し入れを行い、「新たな空港建設」に対する「新たな三里塚闘争」とも言



える闘いを始めました。この二つの勝利をより深く、強く結び付けることが今年の最も重要な課題です。51年間の闘いの蓄積を全て発揮し、改めて三里塚闘争を「農民と労働者が利害を一つにして闘う」闘争として全社会に波及させていくことが勝利の鍵です。

すでにNAAや空港を推進する連中とのせめぎ合いは始まっています。芝山町長・相川勝重は、3月

4日に反対同盟が呼びかけている芝山現地闘争での集会場の使用申請を不許可にするという、「戒厳令」ともいべき体制を敷いています。相手もここが最大の攻防点だということが分かっているのです。

国家権力の矛盾が最も集中している福島や沖縄でも、労働現場でも今日、三里塚闘争の質=体を張った闘いが求められています。ここで三里塚が全国の階級闘争をけん引していけるのか――2018年は正念場です。

全国学生は3・4芝山現地闘争―3・8請求異議裁判―4・1三里塚全国総決起集会に決起しよう! 日々の援農や現地調査に取り組む中で三里塚闘争を学び、キャンパスに三里塚闘争の質を持った学生自治会運動、寮運動をつくり出そう!

福島から改憲・戦争を止めよう

原発・オリンピックを打ち砕こう

3.11反原発福島行動'18

〈日時〉 3月11日(日)13時~ ※12時開場 ※15時デモ出発

〈場所〉 郡山市民文化センター・大ホール

〈呼びかけ〉 3・11反原発福島行動実行委員会

〈メール〉 3.11fukushimaaction@gmail.com



福島からの3/11結集アピール!

【1】改憲・戦争阻止の福島現地行動へ!

2018年の福島の闘いは、改憲・戦争を阻止する一大階級決戦です。「3・11」を契機として爆発した「福島の怒り」は、資本主義社会の矛盾への非和解の怒りです。安倍政権にとって、これを叩きつぶすことなしには原発再稼働はできません。改憲・戦争、核武装もできません。安倍を打倒する福島闘争へ、ぜひ集まってほしい!

【2】福島からの決起は「命より金」の社会を変える

安倍は、「(福島第一原発原発は)アンダーコントロール」なるウソでオリンピックを招致しました。続く避難生活、被曝による健康被害、破壊された産業・農漁業…、国や東京電力の責任を、お祭りムードで押し流す。被曝による被害はたいしたことないとして、核武装への道を掃き清める。そんなオリンピックはいらない!

今年6月の全国植樹祭には、天皇自身が福島現地に乗り込み「復興」を演出します。これも、国と東電の責任をごまかすものです。子どもたちの甲状腺がんの問題も深刻化(現在、県の統計で194人)しているのに、日本学術会議は健康被害と原発事故との因果関係を否定しました。福島に寄り添うことを否定する「学問」「科学」って何なんだ!?

安倍ら支配者たちは、福島の怒りに火がつき、「命より金もうけ」という資本主義のあり方そのものが吹き飛ばされることを恐れています。攻撃の連発は、追いつめられているがゆえのものです。闘えば勝てます。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者たちが8・6、8・9を闘ってきたように、私たちも3・11を核も戦争もなくしていく闘いの日にしたい。だから今年も3月11日に開催します。社会を変える福島現地行動へ、ぜひ駆けつけてください!

【3】福島を裏切る日本共産党らを許さない!

日本共産党委員長の志位は、2017年3月11日、原発再稼働反対集会で「『条件付き再稼働反対』という線ならば、野党間での合意は可能」と発言しました。立憲民主党も「原発ゼロ基本法」を主張していますが、その中身は「現状では認めない」というものです。これらはすべて「条件付き再稼働賛成」です。

福島大のエセリベラル・清水修二名誉教授らが主催する県民大集会は、県内の自民党と協力するために「全原発廃炉!」を掲げません。「福島を再生可能エネルギーの拠点に!」なる主張

は、福島を「特区」として食い物にしようとしている安倍と一緒にです。今年の県民大会は、3月11日ではなく17日に榎葉町での開催となりました。福島第一原発からわずか15kmほどの会場での開催は「復興」応援集会となってしまいます。被曝強制と闘えない勢力は、安倍と闘えなくなりました。

福島大学当局は、「『反原発』などを掲げた過激派団体に注意」「被災地支援、原発問題の学習会、学内外の集会にも注意」と書かれた看板を学内に設置し、学生が行動することを弾圧しています。言葉の上では「原発反対」、やっていることは安倍と同じ! 彼らには原発をなくす力はありません。「絶対反対」を貫いて団結してきた全学連の登場が福島に必要です。

【4】世界の労働者と連帯する福島へ

2020年までの常磐線全線開通に向け、駅の周りを集中的に除染とインフラ整備しています。20mSv/y以下だったら帰還しろ!?! 駅周辺の「コンパクトシティ」に住民をつめこんで「復興」!?! 県民は「復興」演出のための人柱ではない! 「自主避難者」への住宅追い出し訴訟も始まりました。加害者である国が、被害者の避難者を訴えるなんて許せません。

被曝と帰還の強制を打ち破っているのが、動労水戸を先頭とする労働組合の被曝労働拒否闘争です。労働者も住民も被曝してはならない! と常磐線開通反対ストライキに立ち、被災者・避難者や原発労働者と結びつきました。労働組合が本気になれば、廃炉作業や雇用にも責任取れる反原発闘争ができます。それは学生自治会も同じです。

全国・全世界の募金で建設したふくしま共同診療所は、各地での甲状腺エコー検査など具体的実践を通して人々の希望となっています。韓国やドイツの仲間ともつながりました。診療所が呼びかけて始まった「被曝と帰還の強制反対署名」は、開始から半年あまりで4万筆を超えて集まりました。

福島で「絶対反対」の旗を掲げ、全国・全世界とつながろう!

【5】福島の学生運動をつくろう

これまでも、全学連が福島現地に立つことで、学生や避難者の怒りを引き出してきました。3・11当日の集会の成功も、学生の力なしにはありません。福島現地は、全国学友のみなさんの決起を求めています! そして、福島大学をはじめとした福島の大学に、闘う学生自治会を復権させよう。福島現地行動への決起をよろしくお願いします! (了)

1・22通常国会開会日弾劾行動

1月22日(月)12~13時

霞が関・参議院議員会館前

呼びかけ：全学連

※「全学連」の青い旗が目印です。